

かえる便り 30年度30号

平成31年3月5日

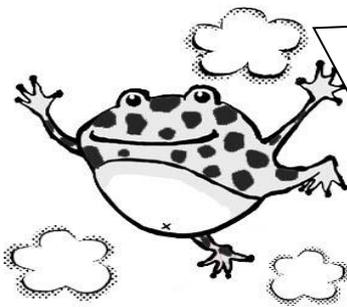
早春の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

先日は卒部式を開催していただきありがとうございました。皆様のサポートにより和やかで楽しく且つ厳粛な会になりました。3年生とその保護者様は勿論、1・2年生にとっても思い出に残る会になったのではないのでしょうか。

翌日、現部員達に来年の卒部式で“後悔や反省の弁を述べるな”と話しました。

長い人生の中の1年間ぐらい、“全力で自分の心の壁を突き破る努力をせよ!!”

多くの部員が苦しかった厳しかったと言うけれど、まだまだ余裕があったはずです。特に、現部員達は力を出し切っていません。自分にとって楽な方に逃げているようにしか思えません。可能性を閉じるのも開くのも自分の心です。心してほしいものです。



最近膝の調子がよくないので、真冬の大山登山ができません。雪に足を取られながら登頂した時の喜びは、夏山登山では絶対に味わえない面白さと何とも言えない気持ちになります。また、見える景色も全く違い白銀の世界です。冬は、山の怖さを体験することもあります。自分の体力や心を知ることができる“貴重な時間”でした…。

面白く楽しい人生にしたいのであれば、自分自身の弱い心に挑戦し克服することが重要だと思います。“うれしい”とは、自分の不快な心を抜き取った状態の楽しさを云うそうです。怠け心、言い訳する弱い心などを取り去る努力をしてみませんか？自分自身の目標や目的を明確にして、生き生きとした気持ちで自分に挑戦してみませんか、違った自分に出会えると思いますよ!!その先には、愉快的人生があるのではないのでしょうか？仲間と心を一つにして挑戦することも、愉快的人生になると思いますよ!! 高校生活は約千日です。皆と目的を一にして真摯に鍛錬し、質的レベルを上げ喜びを分かち合えるようにしましょう。

千日の稽古を鍛とし、万日の稽古を錬とす 武蔵

1月以降の練習試合等において、何人かの方から差し入れをしていただきました。寒い中での試合を終えた後の食べ物に部員達は大変喜んでいました。本当にありがとうございました。